

=====

I/O AT機能を利用する場合のBIOS設定変更について

=====

対象モデル

Express5800/120Ri-2, 120Rg-1, 120Li, 120Eh

iStorage NS460

NS460にて本操作を行う際に、キーボード/マウス/ディスプレイ(またはリモート拡張ライセンスによるリモートコンソール)が必要です。

手順

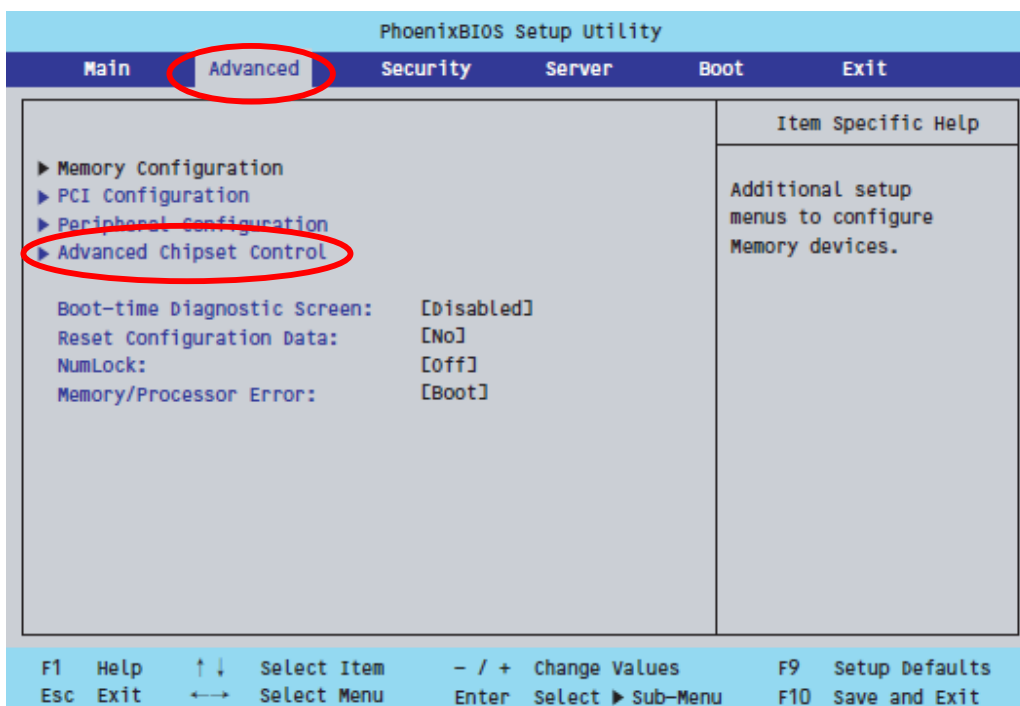
1. 本体の電源を入れると、ディスプレイ画面にPOST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます。暫らくすると、次のメッセージが表示されますので、メッセージに従い<F2>キーを押して、BIOS SETUP ユーティリティを起動してください。

Press <F2> enter SETUP or Press <F12> to boot from Network

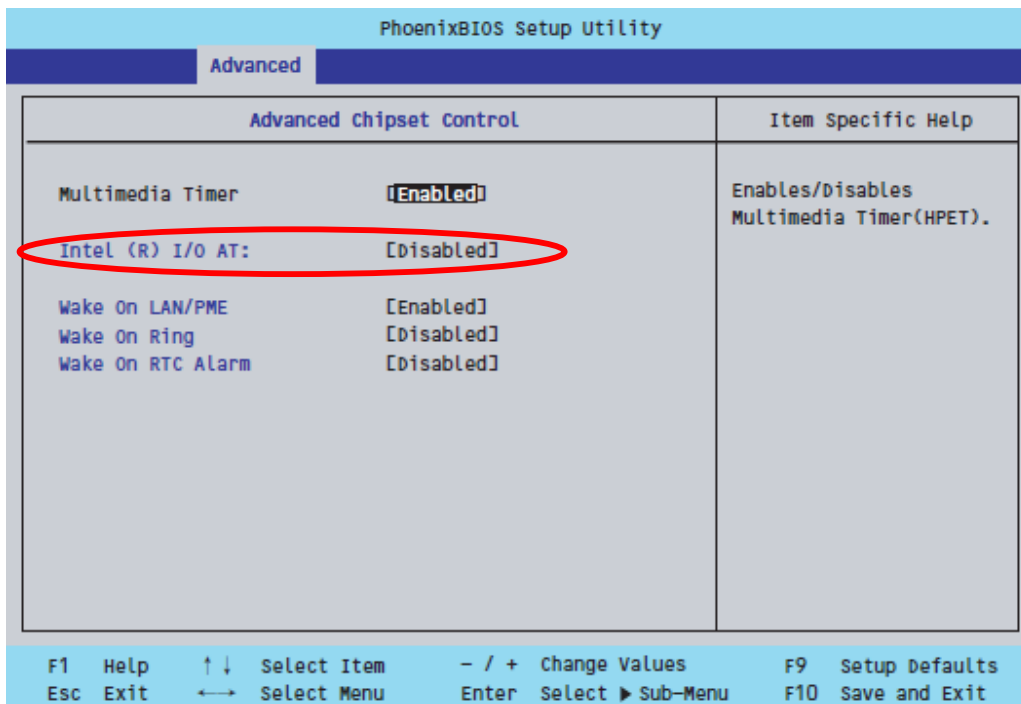
注：NECロゴ画面が表示される場合は、  
"ESC"キーを押下することにより  
上記メッセージが表示される画面  
モードに切り替えることができます。



2. BIOS SETUP ユーティリティ起動後、矢印キーを使ってカーソルを[Advanced]の位置に移動させ、[Advanced Chipset Control]を選択してください。



- 3 . Advanced Chipset Controlメニューで、[Intel(R) I/O AT]のパラメータを「Disable(デフォルト値)」から「Enabled」に変更してください。



- 4 . 矢印キーを使ってカーソルを[Exit]の位置に移動させ、[Exit Saving Changes]を選択する、または"F10キー"を押下して、BIOS SETUP ユーティリティを終了してください。

